



第52回日本PTA関東ブロック研究大会 とちぎ大会



今年度は、コロナウィルス感染拡大防止対策のためオンライン開催となりました。全てのPTA会員の皆さまが、11/14～2021/2/13まで、ご視聴いただけます。ご興味のある方は、ぜひご覧ください。



～ 6つの分科会講演を視聴しました！ ～

1 地域

～人と人の信頼関係づくりが地域づくりへと～

今でこそ有名な宇都宮餃子は、宇都宮市民にとって「当たり前の食べ物」だったそうです。戦後から始まり、宇都宮餃子が有名になるまでの歴史の裏には地域の方々の「努力」と「支え」があるのだというお話でした。戦後、観光地大谷地区の陥没、東日本大震災の困難を乗り越えられたのも地域の方々の「支え合い」があったからなのだそうです。一人の力は小さいかもしれないけれど周囲の協力、支えが集まれば大きな力になるのだと感じました。

3 安全

～安全、不登校・引きこもりとは～

子どもの数は減っているのに、不登校・引きこもりは増えていることを改めて認識しました。不登校や引きこもりに共通しているのは、社会的孤立だそうです。その社会的孤立を防ぐ第一歩が家庭での支援、安心安全な場所を作ってあげることだということです。「居場所がある」「寄り添う」「待つ」「生きていければいい」これらがキーワードであることも感じました。このキーワードを意識しながら、子どもに安心安全な場所を作り、成長を見守り応援していきたいと感じる講演でした。

5 健康

～命の大切さを伝える～

健康は「生物学的要因」だけでは決まらず、SDH（社会的決定要因）の影響を受けています。子どもたちが自分で人生を選択し、デザインしていくチャンスをつんだんに創ることを考えることが必要です。格差の少ない社会にするために目指したいことは『住むだけで健康で幸せになるまちづくり』。そのために、地域ぐるみで子育てをし、地域・教育（学校）が密接に連携を取り、意見交換をしていく「地域共生ネットワーク」を作ることが大切です。PTAとしても地域全体で子育てをし、それぞれの立場から、子どもたちを見守り支え合っていくことの重要性を更に実感しました。



ハマ弁試食会ご報告

～ メニュー ～

【キーマカレー、粉吹き芋、焼きパプリカコーンサラダ、ほうれん草としめじのスープ】

*はっこう乳は頼みませんでした。

10月27日(火)PTA会議室にて本部役員でハマ弁試食会を行いました。

2 情報

～ネット社会を生きる子どもたちとともに歩む～

生まれたときからデジタルの恩恵を受けて育ち、スマホが生活には欠かせない「Z世代」親世代は、このスマホについて、どのように理解し、歩み寄っていくかを考えなくてははいけないと思いました。簡単には見せてくれない子どものスマホ画面を快く見せてもらうには、少しだけ知恵を働かせ、スマホについて教えてもらうスタンスで子どもと接し、情報を共有、共感し合える親子関係を築けたら素敵だと思いました。ただ、スマホを見続けると目の筋肉が緊張し続けるので(スマホ老眼)、休憩を挟むことを1番にお願いしたいです。

4 家庭

～親から引き継ぐ言葉のちから～

「正しい発声と伝える力」というテーマで、実際に発声の練習をしたり、自分の声を聞く練習をしたり技術的なことを教わりました。感情をこめて表現が出来ることで、より「伝える力」が強くなるということでしたが、素直に自分の感情を表現するということは、恥ずかしかったり、難しいことだと思います。子どもが自信をもって発言できるようになるために学校や家庭での声かけが大切だと感じました。

6 組織

～組織・PTAの強みを生かした連携・協力～

例えば、大切な人へのプレゼントを選ぶときに相手が喜ぶ顔を想像するだけで、自分も笑顔になれる。そんな風に人を喜ばせたいという気持ちや行動、喜んでくれた人の顔や感謝の気持ちで自分も幸せになれる、それが「喜ばせ力」だというお話でした。お金をかけることばかりではなくそれは言葉にも通じること。自分が使える「喜ばせ力」を常に意識していきたいと思います。

＊ 横浜市PTA連絡協議会研究会 ＊

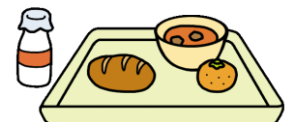
一流人の子ども時代には、一人の大人として接してくれる、信頼して見守ってくれる、そんな大人が周りにいることが共通しているところだそうです。このことは考え方や、やる気を肯定し、自信をつけさせ、セルフイメージ力が上がることに繋がります。自ら考え・学ぶといった力になる。そして、セルフイメージ力が上がると、他人との比較ではなく、昨日の自分との比較で、欠点を新しい課題の発見として捉えることができ、解決していく力にもなることを学びました。

また、集中力を高めるにはリラックス力が大切で、何かをする前に一呼吸おいて気持ちの切り替えをする。これを消去動作といい、スポーツ選手などがやっているルーティーンも消去動作の一つだそうです。

私たち親が、一人の大人として子どもたちを信頼し見守ることで、考え・学ぶ力が子どもたち自身が身に付ける大切なきっかけになるのだと改めて感じました。

～それぞれの感想～

- ・中学生には、おかずが少ないのでは？
- ・コショウなど、もう少し効かせてもよいのでは？
- ・スープやカレーにももう少し具材があれば良いのに…
- ・ごはんの量が選べるのは良いと思う
- ・ごはんが温かく食べやすかった
- ・塩分控えめで栄養バランスが考えられている
- ・安価で手軽に食べられる



※味のばらつきなど、改善してほしい点もありますがたくさんのご家庭が利用するハマ弁になってほしいと思います。

ふれあい

境木中学校PTAだより

第4号

令和2年12月24日
PTA本部発行

責任者： 江副 美穂子
書記： 木内 智美
上谷 寿江
市村 正裕



推薦委員会活動報告

11月05日(木)
12月01日(水)

推薦委員会を開催しました。来年度の本部役員選出までもうしばらくかかりそうですが電話対応等、皆さま方のご協力をお願いいたします。

